

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Seiichi MASHIMO, et al.

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: March 6, 2002

Examiner:

For: EVENT INVITATION METHOD AND SYSTEM

11002 U.S. PTO
10/090742
03/06/02

[Handwritten signature]

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-082314

Filed: March 22, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: March 6, 2002

By: *[Handwritten signature]*

Gene M. Garner
Registration No. 34,172

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

J1002 U.S. PRO
10/090742
03/06/02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 3月22日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-082314

[ST.10/C]:

[JP2001-082314]

出 願 人

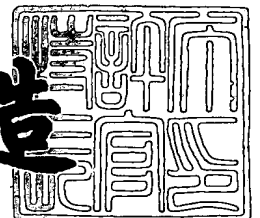
Applicant(s):

富士通株式会社

2002年 1月11日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3114508

【書類名】 特許願

【整理番号】 0150364

【提出日】 平成13年 3月22日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明の名称】 イベント参加案内方法

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 真下 誠一

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 池松 州映

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 八田 裕之

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 長谷田 仁

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100103528

【弁理士】

【氏名又は名称】 原田 一男

【電話番号】 045-290-2761

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 076762

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9909129

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 イベント参加案内方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予め登録した顧客の位置情報を取得する位置情報取得ステップと、
少なくともイベント会場と前記顧客との位置関係に基づき、当該イベントへの参加案内を当該顧客の端末に配信すべきか否かを判断する判断ステップと、
前記イベントへの参加案内を配信すべきと判断された顧客宛に前記イベントへの参加案内情報を送信する送信ステップと、
を含むイベント参加案内方法。

【請求項 2】

前記判断ステップが、
前記イベント会場と前記顧客との位置関係及び前記イベントの時刻に基づき、当該顧客が前記イベントに参加できる範囲に入っているか判断するステップ
を含む請求項 1 記載のイベント参加案内方法。

【請求項 3】

前記位置情報取得ステップ、前記判断ステップ及び前記送信ステップを、前記イベント開始又は終了までの時間に応じて実行することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のイベント参加案内方法。

【請求項 4】

前記イベントへの参加案内に応じて顧客の端末から入場券情報の送付先情報を含む複数人分の参加申込を受信するステップと、

当該複数人分の参加申込に対して、入場券を割り当て可能か判断するステップと、

少なくとも当該複数人に対して入場券を割り当て可能と判断された場合に、前記送付先情報に従って各端末に入場券情報を送信するステップと、

を含む請求項 1 乃至 3 記載のいずれか 1 つ記載のイベント参加案内方法。

【請求項 5】

イベント参加案内のためのプログラムであって、

コンピュータに、

予め登録した顧客の位置情報を取得する位置情報取得ステップと、

少なくともイベント会場と前記顧客との位置関係に基づき、当該イベントへの参加案内を当該顧客の端末に配信すべきか否かを判断する判断ステップと、

前記イベントへの参加案内を配信すべきと判断された顧客宛に前記イベントへの参加案内情報を送信する送信ステップと、

を実行させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明が属する技術分野】

本発明は、コンサート等のイベントへの参加案内を行うための情報処理技術に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来、個人がイベント等のチケット購入後、何らかの事情で当該イベントに行けなくなった場合であっても、通常興行主からチケット代金の払い戻しを受けることはできない。当該チケットに対してとり得る処置としては、他人に売ったり、金券ショップで委託販売したりする方法しかなかった。但し、開演直前に都合でイベントに行けなくなった場合には、他人に売ることもできない。一方で、多数の顧客がチケットが得られないというイベントもある。

【 0 0 0 3 】

また興行主も、興行主が公演数日前に生じた座席を販売したい場合もある。例えば、完売した公演でも調整により確保していた座席が直前に空く場合である。しかし、少数のチケットのために広告を出すこともできず、販売方法が無かった。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

以上のような問題は、主に、従来技術によってはコンサート等のイベントへの参加案内をタイムリーに顧客の状況などに合わせて出すことができないために生

じていた。すなわち、興行主はキャンセルを受けても再販売するだけの時間的及び費用／人的な余裕が無かった。また、顧客もイベント直前の座席の空き状況等を知るようなことはできなかった。

【 0 0 0 5 】

よって、本発明の目的は、イベントへの参加案内に参加の可能性が高い顧客に対して効率的に行うことができるようにする技術を提供することである。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

本発明に係るイベント参加案内方法は、予め登録した顧客の位置情報を取得する位置情報取得ステップと、少なくともイベント会場と顧客との位置関係に基づき、当該イベントへの参加案内を当該顧客の端末に配信すべきか否かを判断する判断ステップと、イベントへの参加案内を配信すべきと判断された顧客宛にイベントへの参加案内情報を送信する送信ステップとを含む。

【 0 0 0 7 】

これにより例えば、予め登録を行った参加の可能性の高い顧客がイベント会場の近くにいる場合や、顧客がイベント会場に所定時間以内に来られるような場所にいる場合に、参加案内を顧客宛に送信することにより、イベントへの集客を行ったり、キャンセルされたチケットの再販売等を効率的に行うことができるようになる。

【 0 0 0 8 】

上で述べた判断ステップを、イベント会場と顧客との位置関係及びイベントの時刻に基づき、当該顧客が当該イベントに参加できる範囲に入っているか否かを判断するステップを含むような構成であってもよい。例えば、イベント開始時刻又はイベント終了時刻までにイベント会場にたどり着くことができるような顧客のみに参加案内を送信することにより、効率的なイベントへの集客、キャンセルされたチケットの効率的な再販売等を行うことができるようになる。

【 0 0 0 9 】

なお、上記位置情報取得ステップ、判断ステップ及び送信ステップを、イベント開始又は終了までの時間に応じて実行するような構成であってもよい。これに

より、参加案内を送る地理的な範囲はイベント開始又は終了までの時間に従ってだんだん狭まってくる。よって、例えば時々刻々と代わる空き座席に従ったタイムリーな参加案内を行うことができるようになる。

【 0 0 1 0 】

さらに、イベントへの参加案内に応じて顧客の端末から入場券情報の送付先情報を含む複数人分の参加申込を受信するステップと、当該複数人分の参加申込に対して、入場券を割り当て可能か判断するステップと、少なくとも当該複数人に対して入場券を割り当て可能と判断された場合（例えば合わせて決済可能かを確認する場合もある）に、送付先情報に従って各端末に入場券情報を送信するステップとを含むような構成であってもよい。端末に入場券情報を送信し、他の端末に入場券情報を送信できないような構成、又は他の端末では入場券情報を使用できないような構成にするならば、ダフ屋行為も合わせて防止することができるようになる。

【 0 0 1 1 】

なお、本発明のイベント参加案内方法をプログラムとコンピュータの組み合わせにて実現することができ、この場合、当該プログラムは、例えばフロッピー・ディスク、CD-ROM、光磁気ディスク、半導体メモリ、ハードディスク等の記憶媒体又は記憶装置に格納される。また、当該プログラムはネットワークを介して送信されることもある。なお、処理途中のデータについては、コンピュータのメモリに一時保管される。

【 0 0 1 2 】

【発明の実施の形態】

図1に本発明の一実施の形態に係るシステム概要図を示す。会員Aは例えば携帯電話機である会員端末A（9）、会員Bも同様に会員端末B（7）を有している。これら会員端末A（9）及び会員端末B（7）は、通信会社システム3の無線基地局と無線にて通信する。この際、例えば3つの無線基地局が1つの会員端末からの電波を受信すれば、3つの無線基地局から構成される三角形の内部に会員端末が存在することがわかり、あわせて電波の強度などから会員端末のおよその緯度・経度を計算することができる。通信会社システム3にはこのような処理

を実施する位置情報取得処理部 3 1 が備えられている。なお、図 1 では会員端末は 2 台しか示していないが、会員端末の数は何台であってもよい。また、会員端末は携帯電話機だけでなく、P H S (Personal Handyphone System) 電話機であってもよいし、携帯電話機又は P H S 電話機に接続された P D A (Personal Data Assistance) 等の携帯端末であってもよい。

【 0 0 1 3 】

通信会社システム 3 は、例えばインターネットであるネットワーク 1 に接続されており、位置情報取得処理部 3 1 はネットワーク 1 を介して、計算された会員端末の位置情報を提供することができるようになっている。ネットワーク 1 には多数のサーバが接続されているが、本実施の形態における主な機能を実施するサーバ 5 もネットワーク 1 に接続されている。

【 0 0 1 4 】

サーバ 5 は、例えば、特定の音楽家のファンクラブのためのホームページを提供するサーバである。すなわちウェブ (Web) サーバ機能を有している。ファンクラブは会員制であり、物品販売、有料音楽データ配信やチケット販売等を行う場合もあるため、決済の手段として本実施の形態ではプール金制度を導入しているものとする。なお、決済の必要が生ずるごとに、銀行振込、口座振替、クレジットカード決済、代金引換払い等の決済方法を利用できるような構成も可能であるが、ここでは説明を簡単にするためにプール金制度を採用しているものとする。

【 0 0 1 5 】

また、本実施の形態において、サーバ 5 において発券されるチケットは電子チケットであって、サーバ 5 から会員端末に送信され、会員端末において保持される。そして、コンサート会場の入場口で、所定の方法にて当該電子チケットが真正なチケットであるかについての確認が行われ、真正なチケットであると確認されれば入場が許可されるものとする。このための技術には様々な方法が考えられる。一例としては、会員端末又は個人の情報とチケットの情報を所定のキーにて暗号化して会員端末に送信して格納しておき、コンサート会場などの入場口でブルートゥース (Bluetooth: 近距離無線通信の規格。詳しくは <http://www.bluetooth>

th.comを参照のこと）等の技術を使って会員端末から入場口に設置された照合用の端末に会員端末に蓄えられたチケット情報を送信する。そして照合用の端末は、受信した当該チケット情報を復号化し、サーバ5に蓄積されているチケット発行時の情報（会員端末又は個人の情報とチケットの情報）と照合する。この照合で真正な電子チケットであると確認されれば、入場を許可する。

【0016】

サーバ5は、会員の個人情報を格納する会員DB11、各会員のプール金残高や購買履歴などの情報を格納する会員プリペイド情報DB13、通信会社システム3の位置情報取得処理部31から受信した、キャンセル待ち登録を行った会員の現在位置情報を格納するキャンセル待ち会員位置DB15、コンサート会場周辺の駅の位置情報を格納する駅位置DB17、例えばコンサート・チケットの購入状況などを格納する登録状況DB19、及びコンサート会場の位置情報を格納する会場位置DB21を管理する。

【0017】

次に、図1に示したシステムの処理フローを説明する。最初に、図2を用いて会員登録時の処理フローを説明する。まず、会員になろうとするユーザは、会員端末A(9)を操作して、サーバ5の会員登録ページにアクセスする（ステップS1）。なお、図2の処理フローにおいて会員端末A(9)は、携帯電話機ではなく、パーソナル・コンピュータのような固定のコンピュータであってもよい。これに対してサーバ5は、会員規約の内容を含む会員規約提示画面情報（例えばHTML（Hyper Text Markup Language）ファイル（コンパクトHTML又はXHTMLの場合を含む）及び参照されている場合には画像ファイル）を、会員端末A(9)に送信する（ステップS3）。会員端末A(9)は、サーバ5から会員規約提示画面情報を受信して、表示装置に表示する（ステップS5）。ユーザは、会員規約の内容を確認し、内容に同意すれば画面に含まれているOKボタンを押し、内容に同意できなければキャンセル・ボタンを押し。

【0018】

これに対して会員端末A(9)は、ユーザの指示に従ってOK又はキャンセル指示の情報を含む確認応答をサーバ5に返信する（ステップS7）。サーバ5は

、確認応答を会員端末A（9）から受信して（ステップS9）、その内容を確認する。もし確認応答がキャンセルを示している場合には処理を終了する。一方、もし確認応答がOKを示している場合には、サーバ5は会員端末A（9）に会員情報入力画面情報を送信する（ステップS11）。会員端末A（9）は、会員情報入力画面情報を受信し、表示装置に表示する（ステップS13）。ここで会員情報として登録すべき情報は、氏名、性別、生年月日、住所、電話番号、携帯電話番号、電子メールアドレスなどである。

【0019】

ユーザは、上で述べたような情報を会員情報入力画面に入力し、会員端末A（9）に送信を命ずる。そうすると、会員端末A（9）は入力された会員情報をサーバ5に送信する（ステップS15）。サーバ5は、会員情報を会員端末A（9）から受信すると（ステップS17）、それを会員DB11に仮登録する（ステップS19）。本実施の形態では、この段階ではまだ仮登録であって、図示していないが、例えば会員端末A（9）に、入金情報（例えば振込先銀行口座情報等）をWebページとして又は電子メールとして送信するようにしてもよい。入金を確認するための仮会員番号などを発行するようにしてもよい。

【0020】

ユーザは、例えば入金情報に従ってプール金を入金する（ステップS21）。ここでステップS21は会員端末A（9）の処理ではないのでここでは点線ブロックで示されている。なお、プール金だけでなく、入会金などを一緒に入金させるような構成であってもよい。サーバ5は、例えば金融機関から受け取った情報を元に、入金を確認し、入金金額及び日付などの情報を会員プリペイド情報DB13に登録する。また、会員ID及びパスワードを発行する（ステップS23）。そして、サーバ5は、発行した会員ID及びパスワードを会員DB11に登録する（ステップS24）。これにて正式な登録が完了する。そして、会員ID及びパスワードを郵便、電子メールその他の方法にてユーザに通知する（ステップS25）。そして、ユーザは会員ID及びパスワードを受領する（ステップS27）。このようにして、プール金の初回入金を含む会員登録処理が完了する。

【0021】

次に、図1に示したシステムを用いて、チケットの転売希望者41（会員）が購入したチケットのキャンセルを行い、キャンセル待ち登録会員43がキャンセルされたチケットを購入する際の処理フローを説明する。図3は、例えばコンサート前日までの処理フローである。転売希望者41は、例えば会員端末A（9）を用いて、自己が保持する電子チケットのキャンセル情報をサーバ5に登録する（ステップS31）。会員ID及びパスワードにてログインした後、例えば図4に示すような画面の情報がサーバ5から送信されてきて会員端末A（9）はそれを表示装置に表示する。本実施の形態では、チケット購入時に発行される購入番号及びキャンセル枚数（売却希望枚数）の入力を転売希望者41に求める。転売希望者41は、会員端末A（9）に購入番号及びキャンセル枚数を入力して、サーバ5へ送信させる。サーバ5は、受信した購入番号に基づき、会員DB11から購入番号に対応するキャンセル・チケット情報を抽出する。

【0022】

抽出されるキャンセル・チケット情報の一例を図5に示す。本例では、購入番号、公演登録番号、公演名、公演日時、会員電話番号、会員名、会員番号、会員メールアドレス、購入席種1（複数ある場合を想定している）、購入席種1に対応する購入枚数1（S、A、B）、購入席種2、購入席種2に対応する購入枚数2が含まれる。なお、購入席種が1つしかなければ購入席種2以降の欄はなく、購入席種が3以上あれば、さらに購入枚数2以降に情報が付加される。

【0023】

一方、キャンセル待ち登録会員43も、例えば会員端末B（7）を用いて、キャンセル待ちの登録を行う（ステップS33）。会員ID及びパスワードにてログインした後、例えば、図6に示すような画面の情報がサーバ5から送信されてきて、会員端末B（7）はそれを表示装置に表示する。本実施の形態では、コンサート等を識別する公演登録番号と、希望席種（例えばS、A、任意の席種）の指定と、購入希望枚数の入力をキャンセル待ち登録会員43に求める。キャンセル待ち登録会員43は、会員端末B（7）に公演登録番号、希望席種の指定及び購入希望枚数を入力して、サーバ5へ送信させる。サーバ5は、会員DB11から当該キャンセル待ち登録会員43の情報を取り出し、さらに受信した公演番号

、希望席種の指定及び購入希望枚数からキャンセル待ち情報を生成して保持する。

【0024】

キャンセル待ち情報の一例を図7に示す。本例では、キャンセル待ち登録会員43の会員端末B(7)から受信した公演登録番号、公演登録番号に対応する公演名、公演日時、会員DB11から抽出した会員電話番号、会員名、会員番号及び会員メールアドレス、また会員端末B(7)から受信した購入希望座席種(例えばS, A又は任意席種)及び購入希望枚数とが含まれる。なお、複数の席種を指定する場合もある。

【0025】

次に、所定の時点においてサーバ5はある公演のキャンセル待ち登録会員43を抽出する(ステップS35)。例えば、ステップS33において登録されたキャンセル待ち情報がキャンセル待ち情報DB(図示せず)に格納されていれば、公演登録番号などで検索を行う。そしてサーバ5は、抽出されたキャンセル待ち登録会員43全員にキャンセル・チケット販売の案内メールを送信する(ステップS37)。キャンセル待ち登録会員43は、会員端末B(7)を用いてキャンセル・チケット販売の案内メールを受信する。キャンセル待ち登録会員43のうち実際にチケットの購入を希望する者は、会員端末B(7)を操作して、購入希望登録を行う(ステップS39)。この購入希望登録を行う際には、会員ID及びパスワードによりログインした後、サーバ5から購入希望登録画面情報を会員端末B(7)が受信し、表示装置に表示する。購入希望登録画面には、例えば、公演名の表示、公演日時の表示、会場場所の表示、購入意思確認のための指示欄、希望席種の表示、残席僅かの際の変更の可否の指示欄、希望枚数の表示、最低希望枚数の入力欄などが含まれる。キャンセル待ち登録会員43は、表示内容を確認するとともに、購入意思確認を表す指示、残席僅かの際の変更の可否の指示、最低希望枚数などをサーバ5に送信する。サーバ5は、これらの情報を受信し、格納する。

【0026】

次に、サーバ5は、所定のタイミングにて、この購入希望登録から抽選を実施

する（ステップS41）。コンサート等の前日以前であるから、抽選にてキャンセル・チケットを配布しても、コンサートの開演時間に間に合わないといった問題は生じない。そして抽選の当選者に当選通知のメールを送信する（ステップS43）。当選者は、会員端末B（7）を操作して当選通知のメールを受信し、再度サーバ5にアクセスして最終的な購入確認を行う（ステップS45）。この際、サーバ5は、会員プリペイド情報DB13を参照して当該当選者のプール金からチケット代金を引き落とす等の決済処理を含む購入処理を実施する（ステップS47）。そして、指定された会員端末B（7）に対して電子チケットを発券する（ステップS49）。なお、電子チケットを複数の会員端末に送信するような構成も可能である。

【0027】

この発券処理の後に、サーバ5は転売希望者41のキャンセル処理を行う（ステップS51）。このキャンセル処理により、転売希望者41の会員端末B（7）に格納された電子チケットを無効にする。この処理の後に、当該転売希望者41についてのプール金をチケット代金分復活させる処理を実施する（ステップS53）。このように、本実施の形態では、転売希望者41は、キャンセルしたチケットが他の者により購入されないとプール金を返してもらえない。

【0028】

なお、ステップS41の抽選で当選した者であっても、当選通知のメールが届いた時にはチケットは不要となっている場合もある。このような場合にはステップS45で購入確認が行われないうち、又はこの時点で当選のキャンセル登録が行われる。よって所定時間後再度抽選行ってもよいし、予めステップS41の抽選で定められた補欠会員へ当選通知のメールを配信するような構成であってもよい（ステップS55）。

【0029】

このようにすることによって、都合により行けなくなった転売希望者41も簡単にキャンセルを申し出ることができ、またキャンセル待ち登録会員がコンサート等のイベントに参加しやすくなることができる。また本実施の形態に係るシステムを使用することにより、効率的且つ公平なチケットの再配布を実施すること

ができるようになる。

【0030】

次に図8を用いてコンサート当日であって例えば開演6時間くらい前までの処理フローを説明する。転売希望者41は、例えば会員端末A(9)を用いて、自己が保持する電子チケットのキャンセル情報をサーバ5に登録する(ステップS61)。会員ID及びパスワードにてログインした後、例えば図4に示すような画面の情報がサーバ5から送信されてきて、会員端末A(9)はそれを表示装置に表示する。本実施の形態では、チケット購入時に発行される購入番号及びキャンセル枚数(売却希望枚数)の入力を転売希望者41に求める。転売希望者41は、会員端末A(9)に購入番号及びキャンセル枚数を入力して、サーバ5へ送信させる。サーバ5は、受信した購入番号に基づき、会員DB11から購入番号に対応するキャンセル・チケット情報を抽出する。抽出されるキャンセル・チケット情報の例は図5に示されたものと同じである。

【0031】

一方、キャンセル待ち登録会員43も、例えば会員端末B(7)を用いて、キャンセル待ちの登録を行う(ステップS63)。キャンセル待ち登録会員43が会員ID及びパスワードにてログインした後、例えば、図6に示すような画面の情報がサーバ5から送信されてきて、会員端末B(7)はそれを表示装置に表示する。本実施の形態では、コンサート等を識別する公演登録番号と、希望席種(例えばS、A、任意の席種)の指定と、購入希望枚数の入力を求める。キャンセル待ち登録会員43は、会員端末B(7)に公演登録番号、希望席種の指定及び購入希望枚数を入力して、サーバ5へ送信させる。サーバ5は、会員DB11から当該キャンセル待ち登録会員43の情報を取り出し、さらに受信した公演番号、希望席種の指定及び購入希望枚数からキャンセル待ち情報を生成して保持する。キャンセル待ち情報の例は図7に示されたものと同じである。なお、キャンセル待ち登録会員43のキャンセル待ちの登録は、前もって行われていればよいのでコンサート当日でなくともよい。

【0032】

次に、所定のタイミングにおいてサーバ5はある公演のキャンセル待ち登録会

員 4 3 を抽出する（ステップ S 6 5）。例えば、ステップ S 6 3 において登録されたキャンセル待ち情報がキャンセル待ち情報 DB に格納されていれば、公演登録番号などで検索を行う。そしてサーバ 5 は、抽出されたキャンセル待ち登録会員 4 3 全員にキャンセル・チケット販売の案内メールを送信する（ステップ S 6 7）。キャンセル待ち登録会員 4 3 は、会員端末 B（7）を用いてキャンセル・チケット販売の案内メールを受信する。キャンセル待ち登録会員 4 3 のうち実際にチケットの購入を希望する者は、会員端末 B（7）を操作して、購入希望登録を行う（ステップ S 6 9）。この購入希望登録を行う際には、会員 ID 及びパスワードによりログインした後、サーバ 5 から購入希望登録画面情報を会員端末 B（7）が受信し、表示装置に表示する。購入希望登録画面には、例えば、公演名の表示、公演日時の表示、会場場所の表示、購入意思確認のための指示欄、希望席種の表示、残席僅かの際の変更の可否の指示欄、希望枚数の表示、最低希望枚数の入力欄などが含まれる。キャンセル待ち登録会員 4 3 は、表示内容を確認するとともに、購入意思確認を表す指示、残席僅かの際の変更の可否の指示、最低希望枚数などをサーバ 5 に送信する。サーバ 5 は、これらの情報を受信し、格納する。

【 0 0 3 3 】

キャンセル待ち登録会員 4 3 による購入希望登録がなされると、サーバ 5 は、先着順に購入希望登録者に割り当てる（ステップ S 7 1）。先着順に次々に割り当てを行わないと、興行主側ではチケットが結局余ってしまったり、一方会員側でも予定を確定できないなどの問題が生ずるからである。そして割当先に割り当て決定を通知するメールを送信する（ステップ S 7 3）。割当先のキャンセル待ち登録会員 4 3 は、会員端末 B（7）を操作して割り当て決定を通知するメールを受信し、再度サーバ 5 にアクセスして最終的な購入確認を行う（ステップ S 7 5）。この際、サーバ 5 は、会員プリペイド情報 DB 1 3 を参照して当該当選者のプール金からチケット代金を引き落とす等の決済処理を含む購入処理を実施する（ステップ S 7 7）。そして、指定された会員端末 B（7）に対して電子チケットを発券する（ステップ S 7 9）。なお、電子チケットを複数の会員端末に送信するような構成も可能である。

【0034】

この発券処理の後に、サーバ5は転売希望者41のキャンセル処理を行う（ステップS81）。このキャンセル処理により、転売希望者41の会員端末B（7）に格納された電子チケットを無効にする。この処理の後に、当該転売希望者41についてのプール金をチケット代金分復活させる処理を実施する（ステップS83）。このように、本実施の形態では、転売希望者41は、キャンセルしたチケットが他の者により購入されないとプール金は返してもらえない。

【0035】

なお、ステップS71で割り当てを受けた者であっても、割り当て決定を通知するメールが届いた時にはチケットは不要となっている場合もある。このような場合にはステップS75で購入確認が行われないうち、又はこの時点で割り当てのキャンセル登録が行われる。よって当該割り当て分のチケットを再度ステップS71の割り当て処理に回してもよいし、ステップS71で割り当てに漏れた補欠会員へ割り当て決定のメールを配信するような構成であってもよい（ステップS85）。

【0036】

このようにすることによって、都合により行けなくなった転売希望者41も簡単にキャンセルを申し出ることができ、またキャンセル待ち登録会員がコンサート等のイベントに参加しやすくなることができる。また本実施の形態に係るシステムを使用することにより、効率的なチケットの再配布を実施することができるようになる。

【0037】

次に図9を用いてコンサート当日で例えば開演6時間前以降の処理フローを説明する。転売希望者41は、例えば会員端末A（9）を用いて、自己が保持する電子チケットのキャンセル情報をサーバ5に登録する（ステップS91）。会員ID及びパスワードにてログインした後、例えば図4に示すような画面の情報がサーバ5から送信されてきて、会員端末A（9）はそれを表示装置に表示する。本実施の形態では、チケット購入時に発行される購入番号及びキャンセル枚数（売却希望枚数）の入力を転売希望者41に求める。転売希望者41は、会員端末

A (9) に購入番号及びキャンセル枚数を入力して、サーバ5へ送信させる。サーバ5は、受信した購入番号に基づき、会員DB11から購入番号に対応するキャンセル・チケット情報を抽出する。抽出されるキャンセル・チケット情報の例は図5に示されたものと同じである。

【0038】

一方、キャンセル待ち登録会員43も、例えば会員端末B(7)を用いて、キャンセル待ちの登録を行う(ステップS93)。会員ID及びパスワードにてログインした後、例えば、図6に示すような画面の情報がサーバ5から送信されてきて、会員端末B(7)はそれを表示装置に表示する。本実施の形態では、コンサート等を識別する公演登録番号と、希望席種(例えばS、A、任意の席種)の指定と、購入希望枚数の入力をキャンセル待ち登録会員43に求める。キャンセル待ち登録会員43は、会員端末B(7)に公演登録番号、希望席種の指定及び購入希望枚数を入力して、サーバ5へ送信させる。サーバ5は、会員DB11から当該キャンセル待ち登録会員43の情報を取り出し、さらに受信した公演番号、希望席種の指定及び購入希望枚数からキャンセル待ち情報を生成して保持する。キャンセル待ち情報の例は図7に示されたものと同じである。なお、キャンセル待ち登録会員43のキャンセル待ちの登録は、前もって行われていけばよいので開演前6時間以降でなくともよい。

【0039】

サーバ5は、処理を開始すると、コンサート等の開演時間から逆算し、キャンセル待ち登録会員の抽出範囲を特定する(ステップS95)。そして、キャンセル待ち会員位置DB15を参照して当該抽出範囲に含まれるキャンセル待ち登録会員を特定し(ステップS97)、当該抽出範囲内のキャンセル待ち登録会員にキャンセル・チケット販売の案内メールを送信する(ステップS99)。この抽出範囲等については後に詳細に説明する。これに対してキャンセル待ち登録会員43は、会員端末B(7)を用いてキャンセル・チケット販売の案内メールを受信する。ここで、案内メールを見たキャンセル待ち登録会員がその時点で購入を希望する場合には、会員端末B(7)を操作して購入希望登録を行う(ステップS101)。この購入希望登録を行う際には、会員ID及びパスワードによりロ

グインした後、サーバ5から購入希望登録画面情報を会員端末B（7）が受信し、表示装置に表示する。

【0040】

図10に購入希望登録画面の一例を示す。この図10の例においては、公演名の表示、公演日時の表示、会場場所の表示、購入意思確認のための指示欄（1．購入確認のYes／No）、希望席種の表示（2．希望席種（キャンセル待ち登録時の席種））、残席僅かの際の変更の可否の指示欄（3．席種変更可不可のYes／No）、希望枚数の表示（4．希望枚数（キャンセル待ち登録時の枚数））、最低希望枚数の入力欄（5．最低希望枚数）、顧客がコンサート会場に効率的に移動することができるようにするための最適経路の表示（6．最適経路の経路、概算時間、運賃）、複数人でコンサートに行く場合にチケットを申込人以外の人に送付するか否かの指示欄（7．チケット別途送付の枚数及びチケット送付先メールアドレス）が含まれる。入力の必要な項目について入力を済ませると、図10の一番下に設けられた送信ボタンを押すことにより、入力情報が会員端末B（7）サーバ5に送信され、サーバ5に登録される。なお、図10に示したように、顧客の現在位置の最寄駅から会場最寄駅までの最適経路の情報や運賃の情報は、サーバ5において計算されてキャンセル待ち登録会員に提供される。又は予め計算されて駅位置DB17に格納されており、図10のような情報を出力する際に駅位置DB17から読み出されて出力される。

【0041】

キャンセル待ち登録会員43による購入希望登録がなされると、サーバ5は、先着順に購入希望登録者に割り当てる（ステップS103）。先着順に次々に割り当てを行わないと、興行主側ではチケットが結局余ってしまったり、一方会員側でも予定を確定できないなどの問題が生ずるからである。そして割当先に割り当て決定を通知するメールを送信する（ステップS105）。例えば図11のようなチケットの割り当てが決定されたことを表すメールが送信される。ここでは、公演名、日時、場所、枚数、発券手続き方法についての説明、料金決済についての説明などが含まれる。一方、チケットの割り当てがなされなかったキャンセル待ち登録会員には例えば図12のようなメールを送信しても良い。但し、ここ

では抽選を行ったということにしている。割当先のキャンセル待ち登録会員43は、会員端末B(7)を操作して割り当て決定を通知するメールを受信し、再度サーバ5にアクセスして最終的な購入確認を行う(ステップS107)。この際、サーバ5は、会員プリペイド情報DB13を参照して当該当選者のプール金からチケット代金を引き落とす等の決済処理を含む購入処理を実施する(ステップS109)。そして、指定された会員端末B(7)に対して電子チケットを発券する(ステップS111)。なお、電子チケットを複数の会員端末に送信するような構成も可能である。

【0042】

この発券処理の後に、サーバ5は転売希望者41のキャンセル処理を行う(ステップS113)。このキャンセル処理により、転売希望者41の会員端末B(7)に格納された電子チケットを無効にする。この処理の後に、当該転売希望者41についてのプール金をチケット代金分復活させる処理を実施する(ステップS115)。このように、本実施の形態では、転売希望者41は、キャンセルしたチケットが他の者により購入されないとプール金は返してもらえない。

【0043】

なお、ステップS103で割り当てを受けた者であっても、割り当て決定を通知するメールが届いた時にはチケットは不要となっている場合もある。このような場合にはステップS107で購入確認が行われないうち、又はこの時点で割り当てのキャンセル登録が行われる。よって当該割り当て分のチケットを再度ステップS103の割り当て処理に回してもよいし、ステップS103で割り当てに漏れた補欠会員へ割り当て決定のメールを配信するような構成であってもよい(ステップS117)。

【0044】

図9のステップS95乃至ステップS115の処理は、例えば開演3時間前から1時間前までは30分ごと、開演1時間前からは10分ごと、といった所定時間間隔で開演前まで行われる。ステップS95で特定される抽出範囲は開演までの時間が短くなるにつれ狭まる。

【0045】

このようにすることによって、都合により行けなくなった転売希望者41も簡単にキャンセルを申し出ることができ、またキャンセル待ち登録会員がコンサート等のイベントに参加しやすくなることができる。また本実施の形態に係るシステムを使用することにより、効率的なチケットの再配布を実施することができるようになる。

【0046】

次に、図9の処理フローの詳細を説明する。図13は、図9におけるサーバ5の処理の概要を示す。まず、転売希望者からキャンセル枚数及び種類の情報を受け付け、キャンセル情報として登録する（ステップS121）。そして、キャンセル待ち登録会員に対してキャンセルが発生したこと（キャンセル・チケットの販売案内）を通知する処理を実施する（ステップS123）。そして、キャンセル待ち登録会員からの購入希望登録に対してキャンセル・チケットの販売処理を実施する（ステップS125）。そして、まだチケットに残りがあるか判断する（ステップS127）。ステップS123及びS125を実行している間にも新たなキャンセルが生ずる場合もあるので、そのキャンセル・チケットの存在をも合わせてチケットの残りがあるか判断する。もし、残りが無ければ処理を終了する。一方、キャンセル・チケットが存在していれば、開演時間前であるか判断する（ステップS129）。開演前であればステップS123に戻り、所定時間ごとに処理を繰り返す。

【0047】

次に、図14を用いて図13のステップS123の詳細を説明する。なお、図13の処理を開始するまでに、例えば図15のようなデータが会場位置DB21に格納される。すなわち、会場名、住所、緯度・経度、最寄駅及び最寄駅までの所要時間のセットが格納される。また、駅位置DB17には、会場周辺（例えば会場最寄駅までの所要時間が6時間以内の駅）の各駅につき例えば図16に示すような情報が格納される。すなわち、駅名、住所、路線名、緯度・経度及び会場最寄駅までの時間が格納される。なお、最適経路及び運賃情報も格納する場合もある。この情報は購入希望登録（図10）時に使用される。

【0048】

また、キャンセル・チケット販売の通知エリアの初期設定も行う。例えば図 1 7 に示したように会場緯度経度から半径 2 度 0 0 分 0 0 秒の円内を規定する。これは例えば緯度経度が 2 0 分離れると鉄道で異動する際に 1 時間かかるとして $20 \text{ 分} \times 6 = 120 \text{ 分}$ (2 度) という計算で設定されている。これは一例であるから各イベントの会場の場所、移動手段 (鉄道網など) などを考慮して決定する。また、図 1 4 の処理を開始するタイミングを規定する情報も設定する。この情報は例えば図 1 8 のように起動条件 (時間前)、動作タイミング (回数/時間)、及び通知エリア絞り込み設定を含む。本例では、6 時間前から 3 時間前までは 1 時間に 1 回実行し、その際通知エリアを毎回 - 2 0 分ずつ狭めてゆく。また、3 時間前から 1 時間前までは 1 時間に 2 回 (3 0 分毎) 実行し、その際通知エリアを毎回 - 1 0 分ずつ狭めてゆく。そして、1 時間前から開演直前までは 1 時間に 6 回 (1 0 分毎) 実行し、その際通知エリアを毎回 - 3 分ずつ狭めてゆく。

【 0 0 4 9 】

さらに、会場に鉄道などを使用しないで徒歩で行かれる人と判断される範囲も規定しておく。例えば、図 1 9 に示すように、徒歩可能エリア設定として、会場緯度経度から + 1 分の範囲が規定されている。

【 0 0 5 0 】

また、登録状況 DB 1 9 には例えば図 2 0 に示すような情報が格納される。すなわち、キャンセル待ち登録会員の会員番号毎にキャンセル待ち登録回数及び購入回数とが格納される。なお、登録回数でソートされ、順位が付される。但し、他の基準にてリストを作成するような構成であってもよい。

【 0 0 5 1 】

では図 1 4 の処理フローを具体的に説明する。最初に開演時間までの時間を (開演時間 - 現在時間) で計算する (ステップ S 1 3 1)。ここでは例えば 1 時間とする。そして、開演時間までの時間に応じたキャンセル待ち登録会員の抽出エリアを設定する (ステップ S 1 3 3)。例えば図 1 8 を参照し、開演時間までの時間 (例えば 1 時間) に応じた緯度・経度の半径の値 (例えば 2 0 分) を取得する。次に、キャンセル待ち登録会員 (購入希望者) の位置情報を例えば通信会社システム 3 の位置情報取得処理部 3 1 から取得する (ステップ S 1 3 5)。そし

て、キャンセル待ち会員位置DB15に格納する。キャンセル待ち会員位置DB15にはキャンセル待ち登録を行った会員の現在位置の情報が例えば図21に示すように格納される。すなわち、会員番号（No.）、会員名、現在緯度・経度、最寄駅（この情報はサーバ5により現在緯度・経度からステップS139にて計算される）、現在時刻の情報が格納される。

【0052】

そして、キャンセル待ち会員位置DB15を参照して抽出エリア内のキャンセル待ち会員を抽出する（ステップS137）。次に、抽出された会員の最寄駅を抽出する（ステップS139）。ここでは、会員位置と最寄駅位置で一番緯度・経度の差が小さい駅を最寄駅とする。この最寄駅は上で述べたようにキャンセル待ち会員位置DB15に登録される。そして、抽出された会員の会場への所要時間を算出する（ステップS141）。これは、駅位置DB17を最寄駅で検索し、会場最寄駅までの時間を取得する。そして、会場位置DB21を参照して、最寄駅からの所要時間を取得し、（会場最寄駅までの時間＋最寄駅からの所要時間）を計算する。なお、（現在位置から最寄駅までの所要時間＋会場最寄駅までの時間＋最寄駅からの所要時間）を計算するようにしても良い。

【0053】

次に、算出された所要時間が、開演までの時間内（本例では1時間）である会員（通知候補者）をさらに抽出する（ステップS143）。これは、ステップS137は所定の半径の円内に入っているか機械的に判断しているが、これでは交通事情などを考えると開演までに会場に到達できない場合もあるからである。そして、登録状況DB19を参照して、抽出された通知候補者のうち優先順位上位から所定人数に絞り込む（ステップS145）。例えば、キャンセル・チケットの数が余りに少ない場合に抽出された通知候補者が多いと、アクセスが殺到してサーバ5に障害が出る場合などもあるので、そのような場合にステップS145を実施するような構成であってもよい。そして、絞り込まれた通知候補者に対して、キャンセル・チケット販売の案内メールを送信する（ステップS147）。

【0054】

このようにすれば、開演までの時間内に会場に到達できる可能性の高いキャン

セル待ち登録会員にのみ案内メールを送信することになるため、開演までの時間内に会場に到達できないような会員などに無駄な案内メールを出すことも無く、且つそのような会員による無駄なアクセスを除去して、スムーズなキャンセル・チケットの販売を行うことができるようになる。

【0055】

次に図13のステップS125の詳細を図22及び図23を用いて説明する。最初に、キャンセル・チケット販売の案内メールを受信したキャンセル待ち登録会員の会員端末から購入希望登録情報を受信する（ステップS151）。そうすると、先着順に割り当てを行うので、その時点でチケットの残りが存在するか判断する（ステップS153）。この段階では、購入希望登録情報に含まれる最低希望枚数以上のチケット残が存在するか判断する。もし、最低希望枚数以上のチケット残が存在する場合には、当該キャンセル待ち登録会員へのチケット割当枚数決定処理を実施する（ステップS155）。すなわち、当該キャンセル待ち登録会員の希望枚数を満たすことができる場合には希望枚数だけ割り当て、希望枚数全数を割り当てることができない場合には存在する枚数を割り当てる。

【0056】

そして、別送付先アドレスの指定が購入希望登録情報に含まれているかを判断する（ステップS157）。もし、別送付先アドレスの指定が無い場合には、そのままキャンセル待ち登録会員に割当結果の通知メール（例えば図11の内容）を送信する（ステップS159）。一方、別送付先アドレスの指定がある場合には、購入希望を登録したキャンセル待ち登録会員のアドレス及び指定された別送付先アドレスに割当結果の通知メールを送信する（ステップS161）。

【0057】

一方、最低希望枚数だけのチケット残が存在しない場合には（ステップS153：Nルート）、割り当てできなかった旨の結果通知メールを購入希望を登録したキャンセル待ち登録会員に送信する（ステップS163）。

【0058】

図23を用いてチケットの発券処理を説明する。キャンセル・チケットの割り当てがなされた旨の通知メールを受信したキャンセル待ち登録会員は、例えば会

員端末B（7）を操作して、サーバ5の発券ページにアクセスする（ステップS171）。このアクセスに応じてサーバ5は、認証情報入力画面情報を当該会員端末B（7）に送信する（ステップS173）。会員端末B（7）は、サーバ5から認証情報入力画面情報を受信して表示装置に表示する（ステップS175）。これに対してキャンセル待ち登録会員は会員ID及びパスワードを入力し、会員端末B（7）に送信させる（ステップS177）。サーバ5は、会員ID及びパスワードを受信し、会員DB11を参照して認証処理を実施する（ステップS179）。認証処理に失敗する場合には、認証に失敗した旨の通知を会員端末B（7）に送信する。

【0059】

認証処理に成功する場合には、プール金からの決済確認を行うための画面情報を会員端末B（7）に送信する（ステップS181）。例えば、この決済確認画面情報には、当該キャンセル待ち登録会員のプール金残高の情報（会員プリペイド情報DB13からの情報）、枚数、チケット代金情報等を含む。会員端末B（7）は、決済確認画面情報を受信し、表示装置に表示する（ステップS183）。この段階でプール金が不足する場合に発行不可を通知しても良い。キャンセル待ち登録会員は、決済確認画面に含まれる情報を確認して、問題なければOKボタンを、購入を止める場合にはキャンセルボタンを押す。これに応じて会員端末B（7）は、OK又はキャンセルを表す確認入力をサーバ5に送信する（ステップS185）。サーバ5は、会員端末B（7）から確認入力を受信し、その内容を確認する（ステップS187）。もし、確認入力キャンセルを表している場合には発券不可通知を会員端末B（7）に送信する。

【0060】

確認入力がOKを示している場合にはプール金からの決済が可能かを会員プリペイド情報DB13を参照して確認する（ステップS189）。プール金残高が不足している場合には、発券不可の通知を会員端末B（7）に送信する。会員端末B（7）は、発券不可の通知を受信し、表示装置に表示する（ステップS191）。

【0061】

プール金からの決済が可能である場合には、プール金の減額処理を実施し、会員プリペイド情報DB13に登録する（ステップS193）。そして、会員DB191から当該キャンセル待ち登録会員の情報及びチケットの情報を使用してチケット情報を生成する処理を実施する（ステップS195）。そして、当該キャンセル待ち登録会員の端末にチケット情報を送信する（ステップS197）。会員端末B（7）は、チケット情報を受信し、記憶装置に格納する（ステップS199）。もし、複数人分のチケット代金を決済しており且つ別送付先アドレスが指定されている場合には、当該別送付先アドレスにもチケット情報を送信するような構成であってもよい。また、当該別送付先アドレスの端末から要求があった場合にチケット情報を送信可能な状態にする場合もある。

【0062】

そしてサーバ5は処理終了画面情報を会員端末B（7）に送信し（ステップS201）、会員端末B（7）は処理終了画面情報を受信して表示装置に表示する（ステップS203）。

【0063】

発券処理については図23とは別方法にて行うような構成であってもよい。すなわち、プール金からのチケット代金の引き落としをチケット情報の送付要求に応じて自動的に行うような構成とするような構成であってもよい。

【0064】

図24乃至図27を用いて具体例を説明する。会場は大井町にあり、図25に示すように会場位置DB21には住所、緯度、経度、最寄駅、最寄駅からの時間が登録される。この例では、2つの鉄道が存在しているため最寄駅が2つ登録されている。なお、図26に示されるように、大井町周辺の駅についての情報（駅名、住所、路線名、緯度、経度、会場最寄駅までの時間）が駅位置DB17に登録されている。

【0065】

キャンセル待ち登録会員は、東京駅付近と、天王洲アイル付近と、蒲田付近と、武蔵中原付近と、海浜幕張付近にいとす。この位置情報は、例えば通信会社システム3の位置情報取得処理部31からサーバ5に送信され、図27に示す

ようにキャンセル待ち会員位置DB15に登録される。最寄駅についてはサーバ5がキャンセル待ち登録会員の現在位置から最も近い駅名を登録する。

【0066】

もし開演50分前であれば、東京駅付近、天王洲アイル付近、蒲田付近、武蔵中原付近にいるキャンセル待ち登録会員にはキャンセル・チケット販売の案内メールが発信される。これは図24に示されたように東京駅付近にいれば会場まで20分（15分+5分）、天王洲アイル付近にいれば会場まで28分（23分+5分）、蒲田付近にいれば会場まで16分（11分+5分）、武蔵中原付近にいれば会場まで44分（39分+5分）であり、開演に間に合うためである。一方、海浜幕張付近にいる場合には会場まで1時間12分（1時間7分+5分）かかるために、開演に間に合わないので案内メールは送られない。

【0067】

もし、同じ位置に開演30分前にいたとすると、東京駅付近、天王洲アイル付近、蒲田付近にいるキャンセル待ち登録会員には、案内メールが送付されるが、武蔵中原付近にいるキャンセル待ち登録会員には送られなくなる。さらに開演20分前になると、東京駅付近、蒲田付近にいるキャンセル待ち登録会員にのみ案内メールが送付されるようになる。

【0068】

以上本発明の一実施の形態について説明したが、様々な変形が可能である。例えば、会員端末の位置情報については通信会社システム3の位置情報取得処理部31から取得するような構成であったが、例えば会員端末にGPS（Global Positioning System）機器が設けられている場合には、そのGPS機器からの位置情報を用いるような構成であってもよい。さらに他の方法にて会員端末の位置情報を取得するような構成であってもよい。

【0069】

また、コンサート等のイベントに本実施の形態を適用する例で説明したが、例えば物品を販売する販売店のタイムセールなどの案内メールを配信するような場合にも用いることができる。すなわち、タイムセールの開始時間又は終了時間までに販売店に来られる登録会員に案内メールを送信するような場合にも適用可能

である。また、キャンセル・チケットの再販売の例を示したが、キャンセル・チケットに限定するものではなく、どのような売れ残りチケットであってもよい。

【0070】

メールでキャンセル・チケットの割り当て結果を通知するような例を示したが、抽選でなければ購入希望登録時にリアルタイムで割り当て結果を示すような構成であってもよい。

【0071】

さらに、サーバ5は1台のコンピュータで構成される場合もあれば複数台のコンピュータで構成するようにしても良い。

【0072】

さらに図10で別送付先アドレスを指定できるようにしているが、別送付先の人もチケット代金を払わなければならない場合もあり、その場合には上で述べた申込人の発券処理と同様の処理を実施するものとする。なお、決済手段はクレジットカードなどを使用するような構成であってもよい。一方、別送付先アドレスの人がチケット代金を払わない場合には、電子チケットがダウンロード可能となった旨のメールを送信し、メールに含まれる認証情報（ID及びパスワードなど）により認証処理を実施した後に決済無しで電子チケットを送信するような構成であってもよい。

【0073】

（付記1）

予め登録した顧客の位置情報を取得する位置情報取得ステップと、

少なくともイベント会場と前記顧客との位置関係に基づき、当該イベントへの参加案内を当該顧客の端末に配信すべきか否かを判断する判断ステップと、

前記イベントへの参加案内を配信すべきと判断された顧客宛に前記イベントへの参加案内情報を送信する送信ステップと、

を含むイベント参加案内方法。

【0074】

（付記2）

前記判断ステップが、

前記イベント会場と前記顧客との位置関係及び前記イベントの時刻に基づき、当該顧客が前記イベントに参加できる範囲に入っているか判断するステップを含む付記 1 記載のイベント参加案内方法。

【0075】

(付記 3)

前記判断ステップが、

前記イベントの開始又終了までの時間に応じて定められた前記イベント会場から所定の範囲内に顧客が入っているか判断するステップと、

前記顧客が前記所定の範囲に入っていると判断された場合には、当該顧客が前記イベント会場へ到達するための見積時間が、前記イベントの開始又は終了までの時間内であるかを判断するステップと、

を含む付記 1 記載のイベント参加案内方法。

【0076】

(付記 4)

前記位置情報取得ステップ、前記判断ステップ及び前記送信ステップを、前記イベント開始又は終了までの時間に応じて実行することを特徴とする付記 1 乃至 3 のいずれか 1 つ記載のイベント参加案内方法。

【0077】

(付記 5)

前記顧客の位置情報と前記イベント会場の位置とに基づき、前記イベント会場への移動経路の情報を当該顧客の端末に送信するステップ

をさらに含む付記 1 乃至 4 のいずれか 1 つ記載のイベント参加案内方法。

【0078】

(付記 6)

前記イベントへの参加案内に応じて参加申込を行った顧客に対して、入場券を割り当て可能か判断するステップと、

少なくとも当該顧客に入場券を割り当て可能と判断された場合には、入場券情報を前記顧客の端末に送信するステップと、

を含む付記 1 乃至 5 のいずれか 1 つ記載のイベント参加案内方法。

【 0 0 7 9 】

(付記 7)

前記イベントへの参加案内に応じて顧客の端末から入場券情報の送付先情報を含む複数人分の参加申込を受信するステップと、

当該複数人分の参加申込に対して、入場券を割り当て可能か判断するステップと、

少なくとも当該複数人に対して入場券を割り当て可能と判断された場合には、前記送付先情報に従って各端末に入場券情報を送信するステップと、

を含む付記 1 乃至 5 記載のいずれか 1 つ記載のイベント参加案内方法。

【 0 0 8 0 】

(付記 8)

顧客からチケットのキャンセルを受け付けるステップと、

キャンセルによるチケットが他の顧客に対して発券されたことに応じて、当該チケットをキャンセルした顧客に対して返金のための処理を実施するステップと

をさらに含む付記 7 又は 8 記載のイベント参加案内方法。

【 0 0 8 1 】

(付記 9)

イベント参加案内のためのプログラムであって、

コンピュータに、

予め登録した顧客の位置情報を取得する位置情報取得ステップと、

少なくともイベント会場と前記顧客との位置関係に基づき、当該イベントへの参加案内を当該顧客の端末に配信すべきか否かを判断する判断ステップと、

前記イベントへの参加案内を配信すべきと判断された顧客宛に前記イベントへの参加案内情報を送信する送信ステップと、

を実行させるためのプログラム。

【 0 0 8 2 】

(付記 1 0)

イベント参加案内のためのプログラムを格納した記録媒体であって、

前記プログラムは、コンピュータに、
予め登録した顧客の位置情報を取得する位置情報取得ステップと、
少なくともイベント会場と前記顧客との位置関係に基づき、当該イベントへの参加案内を当該顧客の端末に配信すべきか否かを判断する判断ステップと、
前記イベントへの参加案内を配信すべきと判断された顧客宛に前記イベントへの参加案内情報を送信する送信ステップと、
を実行させるためのプログラムである、記録媒体。

【 0 0 8 3 】

(付記 1 1) 、

予め登録した顧客の位置情報を取得する位置情報取得手段と、
少なくともイベント会場と前記顧客との位置関係に基づき、当該イベントへの参加案内を当該顧客の端末に配信すべきか否かを判断する判断手段と、
前記イベントへの参加案内を配信すべきと判断された顧客宛に前記イベントへの参加案内情報を送信する送信手段と、
を有するイベント参加案内システム。

【 0 0 8 4 】

【発明の効果】

以上述べたように、イベントへの参加案内に参加の可能性が高い顧客に対して効率的に行うことができるようにする技術を提供することができた。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施の形態に係るシステムの概要を示す図である。

【図 2】

会員登録時の処理フローを示す図である。

【図 3】

キャンセル・チケットを再販売する場合の処理フロー（イベント前日まで）を示す図である。

【図 4】

チケットのキャンセルを登録するための画面例を示す図である。

【図 5】

チケットのキャンセルを登録した際のデータの一例を示す図である。

【図 6】

キャンセル待ち登録のための画面例を示す図である。

【図 7】

キャンセル待ち登録情報の一例を示す図である。

【図 8】

キャンセル・チケットを再販売する場合の処理フロー（イベントの開始所定時間前まで）を示す図である。

【図 9】

キャンセル・チケットを再販売する場合の処理フロー（イベント直前まで）を示す図である。

【図 1 0】

購入希望登録時の画面例を示す図である。

【図 1 1】

キャンセル・チケットの割り当て通知メールの一例を示す図である。

【図 1 2】

キャンセル・チケットの割り当て不能を通知するメールの一例を示す図である。

【図 1 3】

キャンセル・チケットの割り当て通知メールの発送先決定処理のフローを示す図である。

【図 1 4】

キャンセル・チケットの割り当て通知メールの発送先決定処理のフロー（詳細）を示す図である。

【図 1 5】

会場位置 DB に格納される情報の一例を示す図である。

【図 1 6】

駅位置 DB に格納される情報の一例を示す図である。

【図 17】

転売可能エリア初期設定の一例を示す図である。

【図 18】

図 14 の処理フローを実施するタイミングについての設定情報を示す図である。

【図 19】

徒歩可能エリア設定の一例を示す図である。

【図 20】

登録状況 DB に格納される情報の一例を示す図である。

【図 21】

キャンセル待ち会員位置 DB に格納される情報の一例を示す図である。

【図 22】

キャンセル・チケットの購入処理のフローを示す図である。

【図 23】

キャンセル・チケットの発券の処理フローを示す図である。

【図 24】

実施の形態の具体例を説明するための図である。

【図 25】

図 24 の場合の会場位置 DB に格納される情報の一例を示す図である。

【図 26】

図 24 の場合の駅位置 DB に格納される情報の一例を示す図である。

【図 27】

図 24 の場合のキャンセル待ち会員位置 DB に格納される情報の一例を示す図である。

【符号の説明】

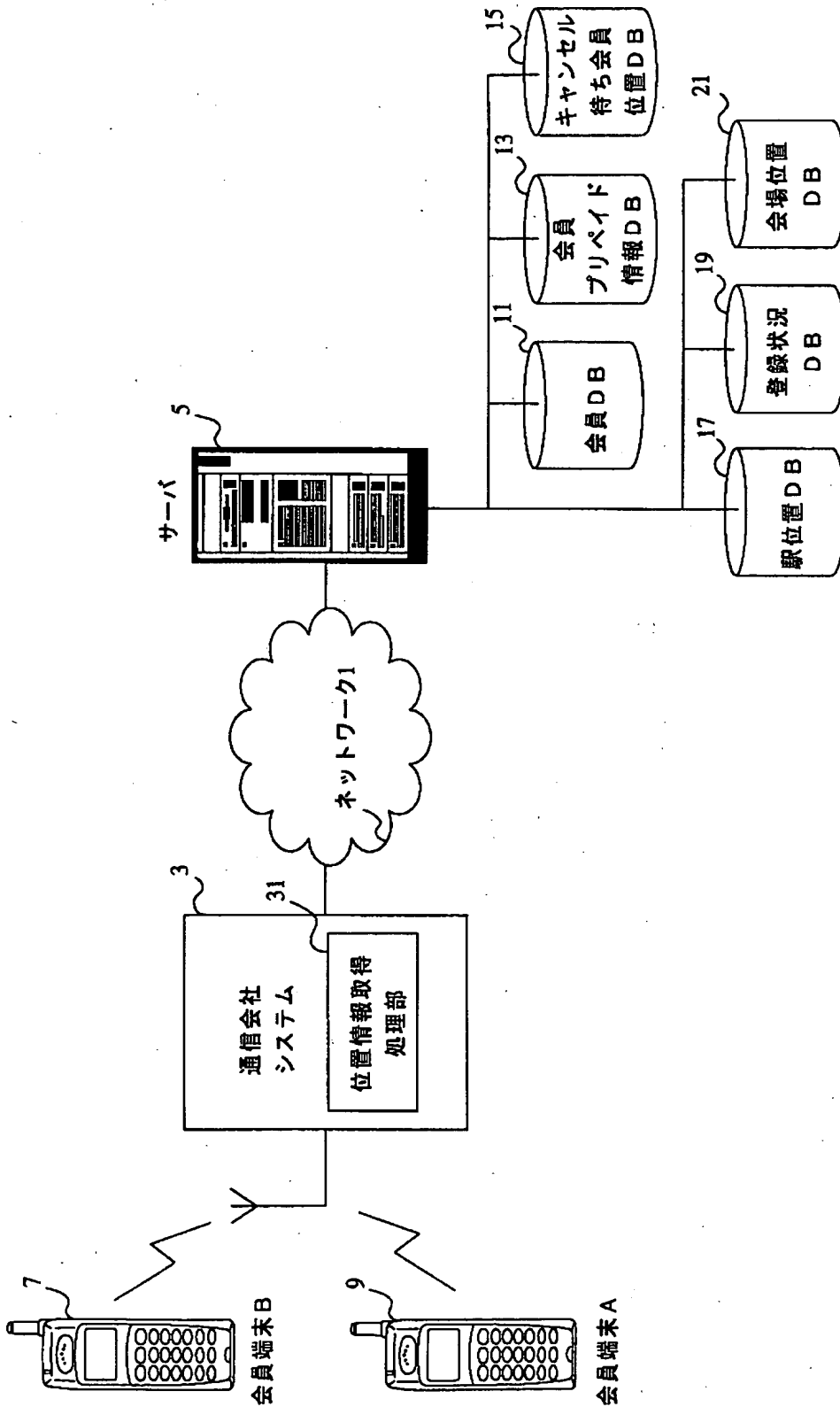
- | | | | | | |
|----|--------------|----|----------------|----|---------|
| 1 | ネットワーク | 3 | 通信会社システム | 5 | サーバ |
| 7 | 会員端末 B | 9 | 会員端末 A | 11 | 会員 DB |
| 13 | 会員プリペイド情報 DB | 15 | キャンセル待ち会員位置 DB | | |
| 17 | 駅位置 DB | 19 | 登録状況 DB | 21 | 会場位置 DB |

3 1 位置情報取得処理部

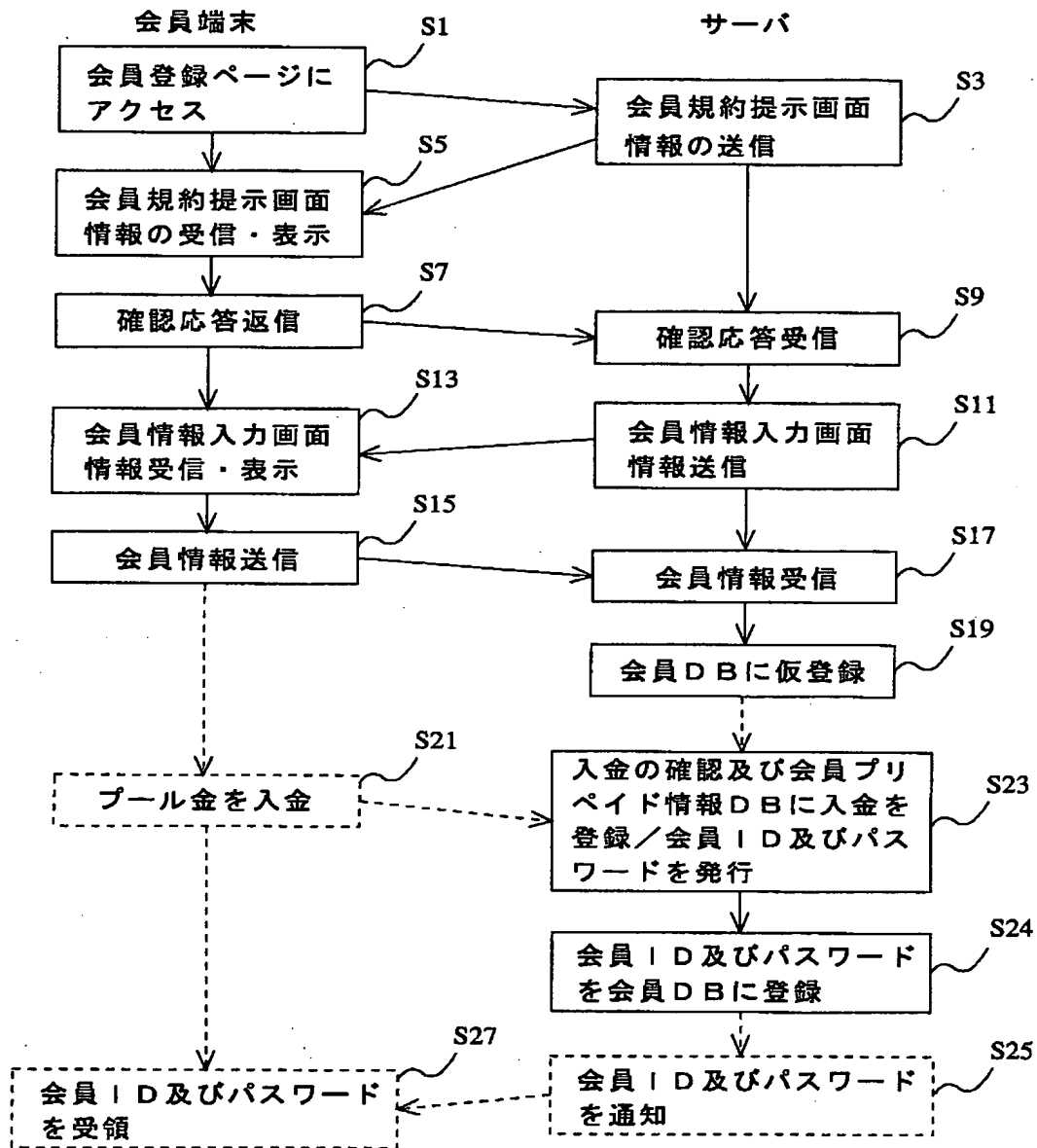
【書類名】

図面

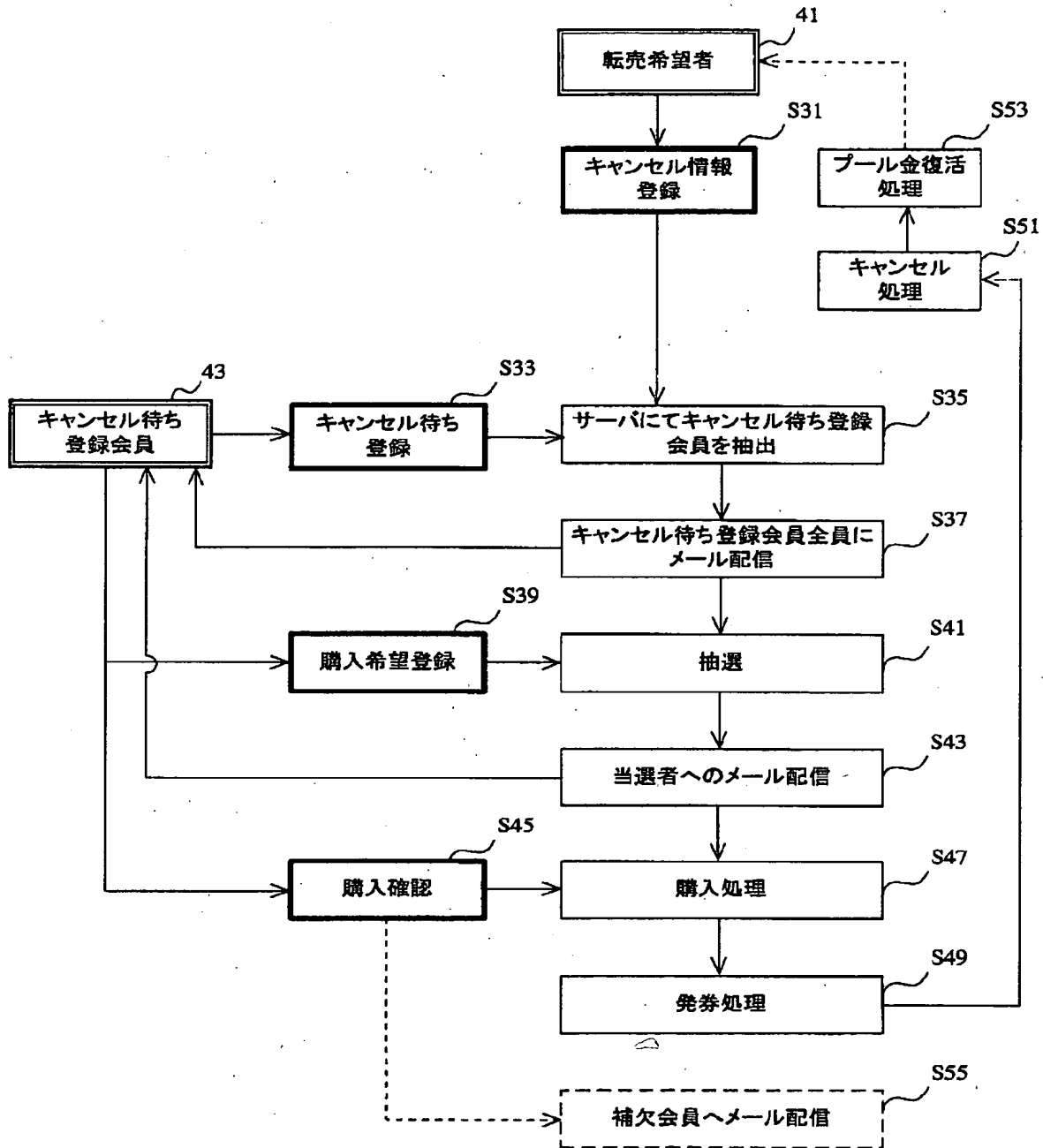
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図4】

チケット売却	
購入番号入力	_____
売却希望枚数	_____枚

【図5】

購入番号	1 2 3 4 5 6
公演登録番号	1 2 3
公演名	00000000
公演日時	2001/XX/YY/00:00
会員電話番号	090-000-0000
会員名	△山△男
会員番号	1 2 3 4 5 6
会員メールアドレス	000000000.ne.jp
購入席種1	S or A or B
購入枚数1	00枚
購入席種2	S or A or B
購入枚数2	00枚

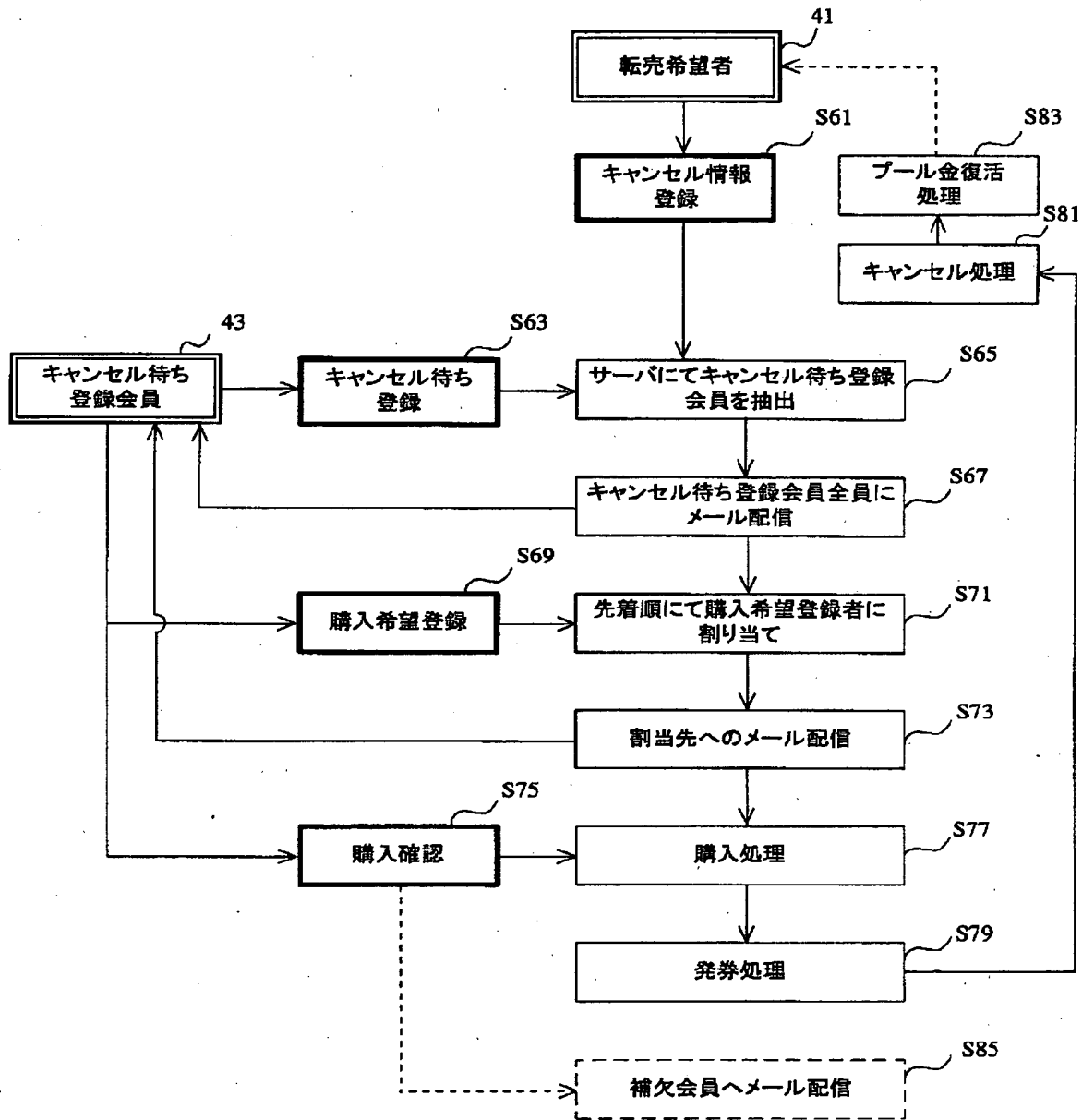
【図6】

キャンセル待ち	
公演登録番号	_____
席種	<input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> 任意席種
購入希望枚数	_____枚

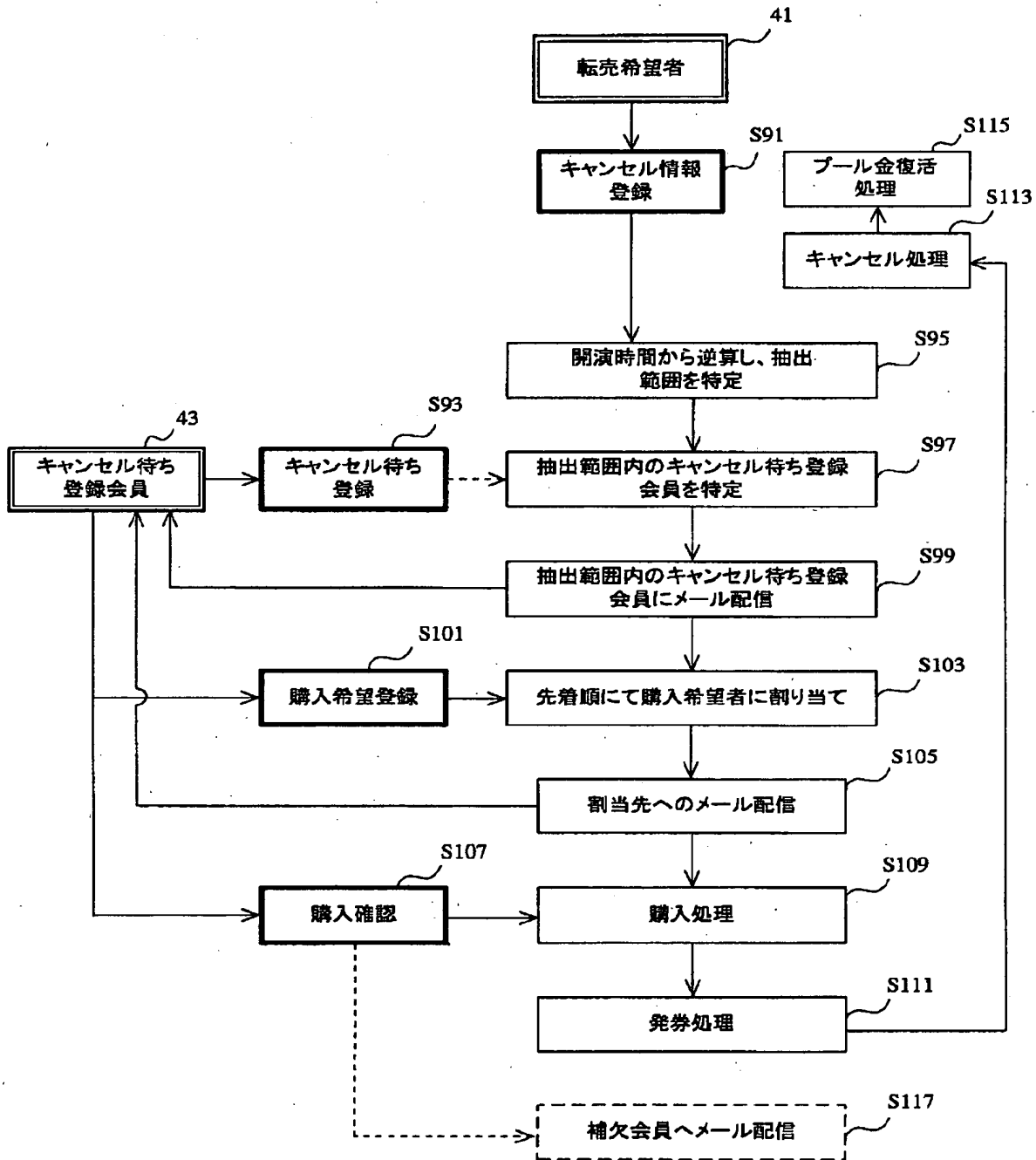
【図 7】

公演登録番号	1 2 3
公演名	00000000
公演日時	2001/XX/YY/00:00
会員電話番号	090-000-0000
会員名	△山△男
会員番号	1 2 3 4 5 6
会員メールアドレス	000000000. ne. jp
購入希望席種	S or A or 任意
購入希望枚数	00枚

【図 8】



【図 9】



【図 10】

〇〇公演	
〇年〇月〇日〇時△分	
〇〇公会堂	
1. 購入確認	
<input type="checkbox"/> Yes	
<input type="checkbox"/> No	
2. 希望席種	[登録時の席種です]
〇席	
3. 席種変更可不可	[残席僅の際の変更]
<input type="checkbox"/> Yes	
<input type="checkbox"/> No	
4. 希望枚数	[登録時の枚数です]
〇枚	
5. 最低希望枚数	
<input type="text"/>	枚
6. 最適経路	
・ 〇〇駅→××駅→〇×駅	
・ 概算所要時間	
・ 運賃	
7. チケット別途送付 (希望者のみ)	
・ 枚数	
<input type="text"/>	枚
・ チケット送付先メールアドレス	
<input type="text"/>	
<input type="button" value="送信"/>	

【図11】

××様
チケット確定のおしらせ

—記—
〇〇公演
〇年〇月〇日〇時〇分
〇〇公会堂
×枚

・ 発券手続き方法
.....

・ 料金決済について
.....

以上、ご利用ありがとうございました。

【図12】

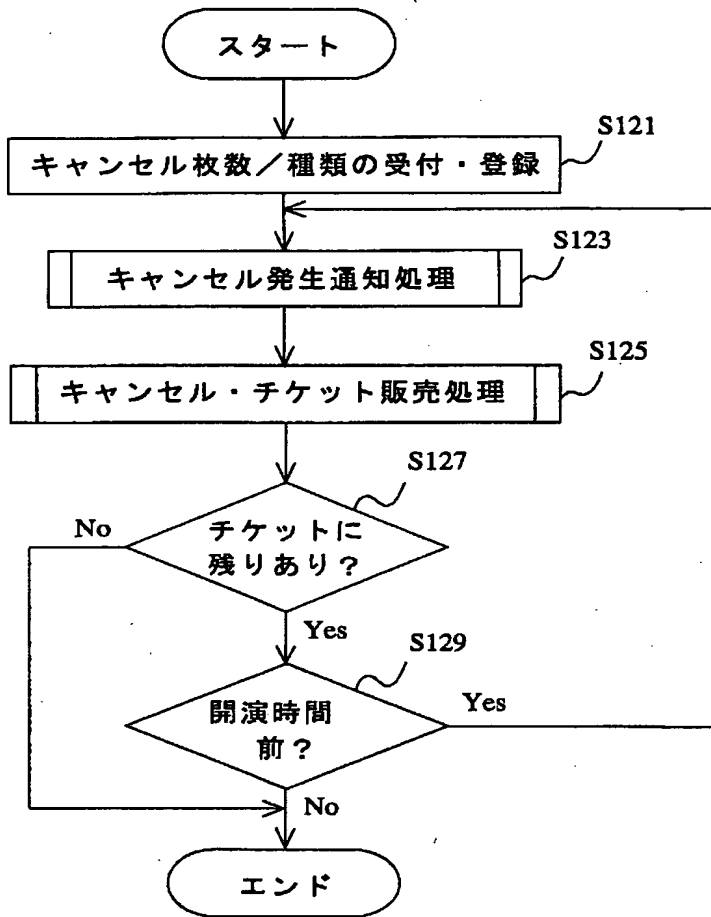
××様

抽選結果のおしらせ

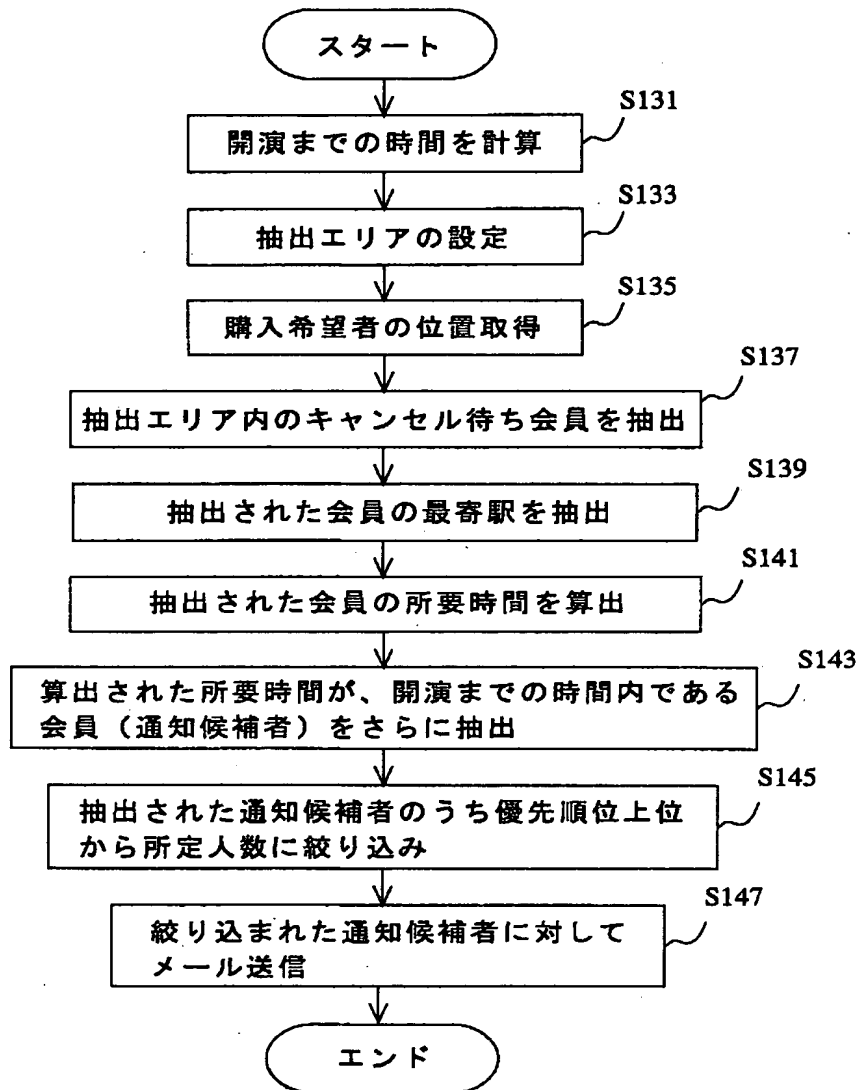
誠に申し訳ありませんが、〇〇公演については、
抽選の結果、ご希望に添えませんでした。

またのご利用をお待ちしております。
ありがとうございました。

【図 13】



【図 14】



【図 15】

会場名	〇〇ドーム
住所	東京都〇〇区〇〇丁目〇〇番地
緯度・経度	N XXX.XX.XX E XXX.XX.XX
最寄駅 1	〇×線 XX 駅
最寄駅 1 から会場までの所要時間	10 分
最寄駅 2	地下鉄〇〇線△△駅
最寄駅 2 から会場までの所要時間	5 分

【図 16】

駅名	□□駅
住所	東京都××
路線名	〇×線
緯度・経度	N XXX.XX.XX E XXX.XX.XX
会場最寄駅までの時間	25 分

【図 17】

キャンセル・チケット販売の通知エリア初期設定
会場緯度経度 + 2 度 00 分 00 秒

【図 18】

No	起動条件 (時間前)	動作タイミング (回数/時間)	通知エリア 絞り込み設定
1	6	1	-20 分
2	3	2	-10 分
3	1	6	-3 分

【図 19】

徒歩可能エリア設定
会場緯度経度 + 0度 01分 00秒

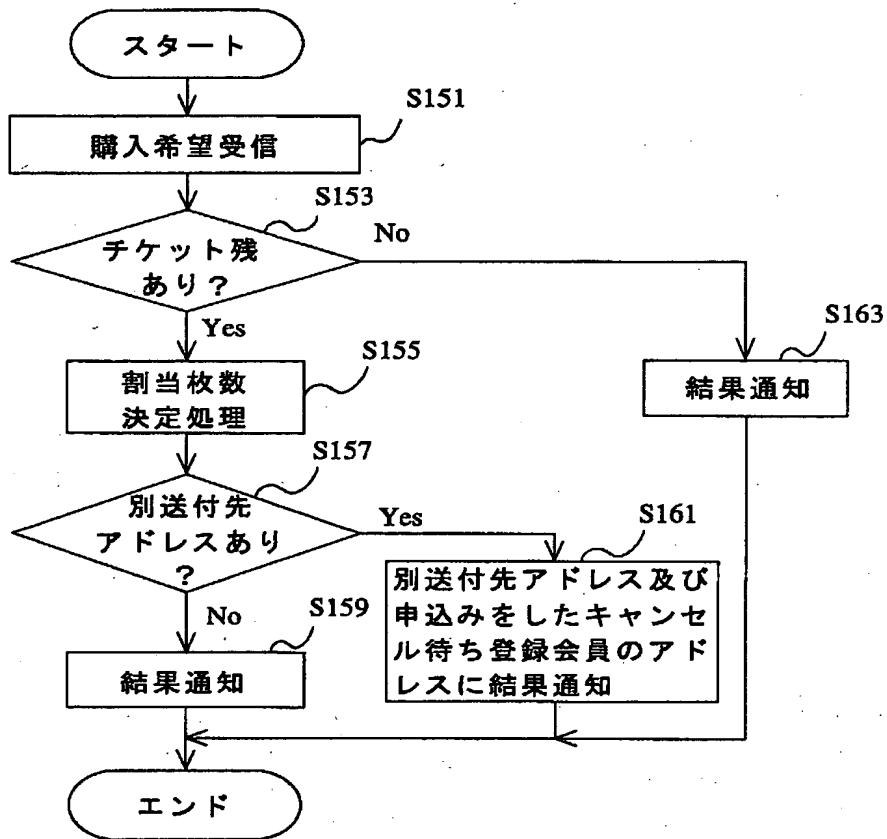
【図 20】

順位	会員番号	登録回数	購入回数
01	○××○○	15	6
01	○×○×○	15	5
02	×○×○○	14	4
02	××○○○	14	4
02	○××○×	14	3
03	○×××○	13	5
⋮	⋮	⋮	⋮
24	○○○×○	5	2
25	○○○○×	4	1
26	○××××	3	1
⋮	⋮	⋮	⋮

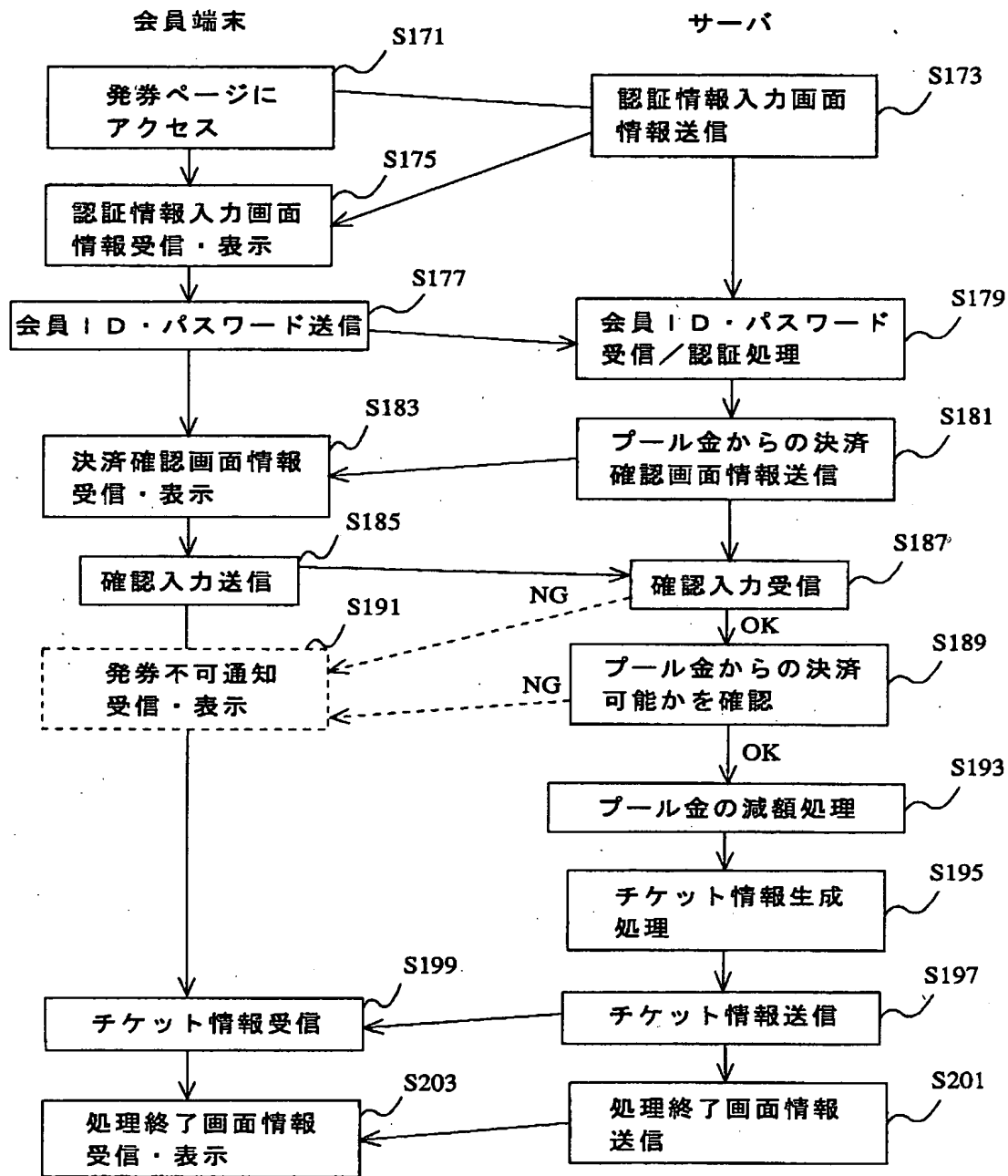
【図 21】

会員 No.	1 2 3 4 5 6
会員名	○○山△△男
現在緯度・経度	N XXX. XX. XX E XXX. XX. XX
最寄駅	××駅
現在時刻	00:00

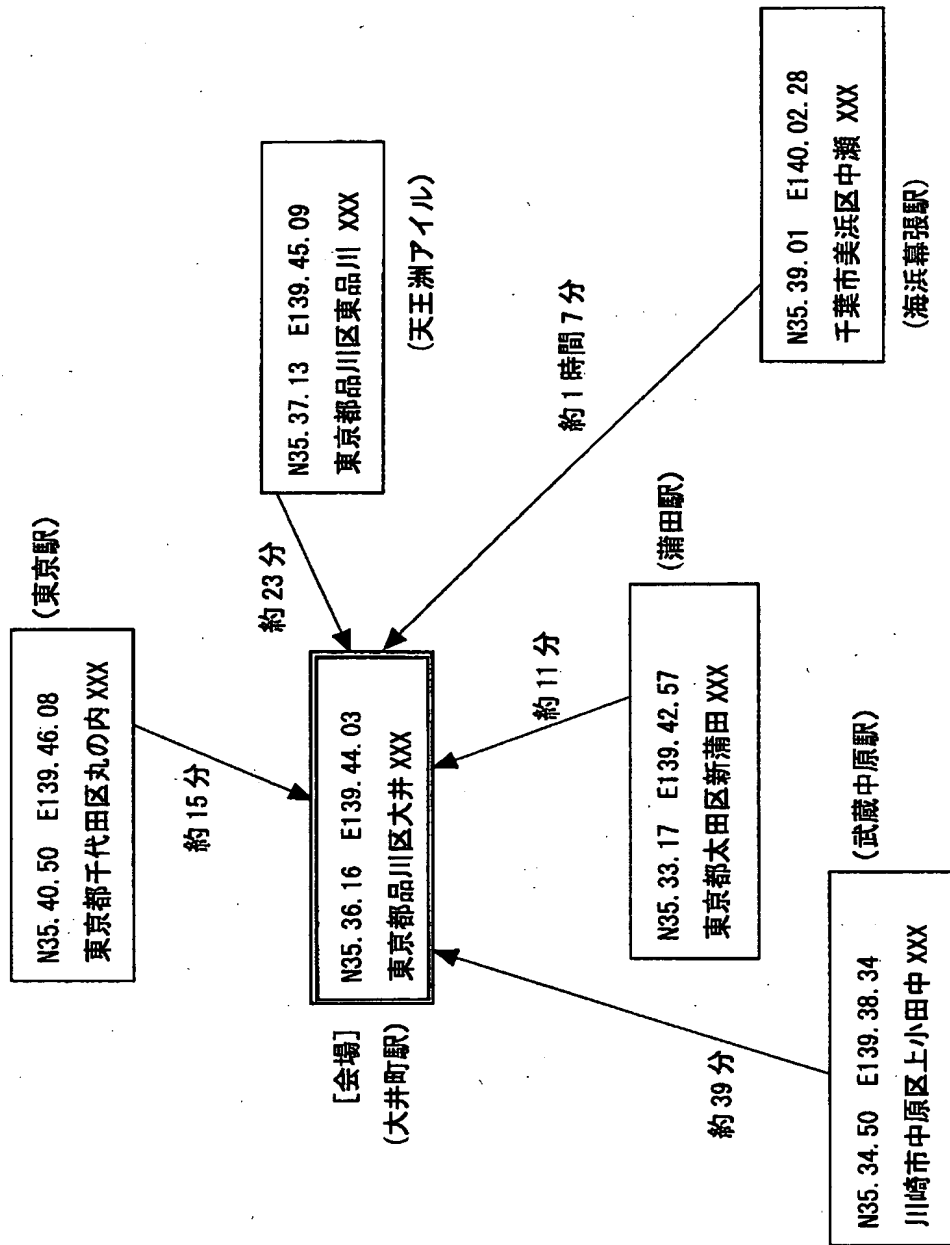
【図 22】



【図 23】



【図 24】



【図 2 5】

会場	住所	緯度	経度	最寄駅 1	最寄駅 1 からの 時間	最寄駅 2	最寄駅 2 からの 時間
大井町	東京都品 川区 . . .	N35. 36. 16	E139. 44. 03	J R 大 井町	5 分	東急大 井町	4 分

【図 2 6】

駅	住所	路線名	緯度	経度	会場最寄駅までの時間
大井町	東京都品 川区 . . .	J R	N35. 36. 20	E139. 44. 10	—
蒲田	東京都大 田区	J R	N35. 33. 20	E139. 42. 60	11 分
東京	東京都千 代田区	J R	N35. 40. 55	E139. 46. 15	15 分

【図 2 7】

会員 No	会員名	緯度	経度	最寄駅	現在時刻
001	村上 憲子	N35. 40. 50	E139. 46. 08	東京	12 : 03
111	山田 太郎	N35. 37. 13	E139. 45. 09	天王洲7fl	12 : 00
123	佐藤 昭子	N35. 39. 01	E140. 02. 28	海浜幕張	12 : 05
200	神田 伸夫	N35. 33. 17	E139. 42. 57	蒲田	12 : 04
077	山川 武	N35. 34. 50	E139. 38. 34	武蔵中原	12 : 06

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

イベントへの参加案内を参加の可能性が高い顧客に対して効率的に行う。

【解決手段】

予め登録した顧客の位置情報を取得するステップと、イベント会場と顧客との位置関係及びイベントの時刻に基づき、当該イベントへの参加案内を当該顧客の端末に配信すべきか否か判断するステップと、イベントへの参加案内を配信すべきと判断された顧客の端末にイベントへの参加案内情報を送信するステップとを含む。例えば、イベント開始時刻又はイベント終了時刻までにイベント会場にたどり着くことができるような顧客のみに参加案内を送信することにより、効率的なイベントへの集客、キャンセルされたチケットの効率的な再販売等を行うことができるようになる。

【選択図】 図9

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社